

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県立文化芸術ホール（上野学園ホール）		
所在地	広島市中区白島北町 19-1		
設置目的	県民の文化芸術を鑑賞する機会を提供し、文化芸術の振興を図る。		
施設・設備	ホール（1,730席）、リハーサル室（3室）、スタジオ・オーディウム、録画編集室（2室）、音楽室（2室）、会議室（5室）、レストラン		
指定管理者	5期目	R3.4.1～R8.3.31	RCCホールマネジメントグループ
	4期目	H28.4.1～R3.3.31	RCCホールマネジメントグループ
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	RCCホールマネジメントグループ
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	共立・合人社共同事業体
	1期目	H19.4.1～H20.3.31	（財）ゆうちょ財団

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	5期	R5	255,000人	205,862人	△54,100人	△49,138人
R4		330,000人	259,962人	144,006人	△70,038人	(78.8%)
R3		245,000人	115,956人	△97,455人	△129,044人	(47.3%)
4期平均	H28～R2	224,964人	213,411人	△15,754人	△11,553人	(94.9%)
3期平均	H23～H27	258,000人	229,165人	△31,541人	△28,835人	(88.8%)
2期平均	H20～H22	320,000人	260,706人	23,244人	△59,294人	(81.5%)
1期	H19	320,000人	237,462人	—	△82,538人	(74.2%)
増減理由	新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へ引き下げられ、入場者数は回復傾向にあるものの、トイレ工事に伴う、ホールの利用制限（約3か月）があったため、目標達成に至らなかった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象】
	利用者アンケート（紙）	ホール自主事業イベント来場者
	【主な意見】	【その対応状況】
	イベントに屋台やキッチンカーがもっとあったらよかった。 施設内に貸室やカルチャースクールがあることを知らなかったため、もっとPRしてほしい。	イベントの開催規模に応じた食事の提供サービス等、利用者ニーズに合った内容を検討する。 新たに公式Youtubeチャンネルを立ち上げ、リハーサル室やカルチャー講座の紹介PR動画を配信した。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報（必要随時）	—
現地調査及び管理運営会議（随時実施）	【特記事項等】 施設・設備の老朽化 【指定管理者の意見】 突発的な故障・不具合が発生していることから、計画的な修繕工事に取り組む必要がある。 【県の対応】 中長期的な観点から、計画的な修繕工事に着手する。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	5期	R5		8,766		△14,145	5期	R5	
R4			22,911	△29,502	R4			149,871	75,333
R3			52,413	33,942	R3			74,538	△10,215
4期平均		H28～R2	18,471※	18,471	4期平均	H28～R2		84,753	△30,222
3期平均		H23～H27	—	—	3期平均	H23～H27		114,975	△5,370
2期平均		H20～H22	—	△26,704	2期平均	H20～H22		120,345	20,004
1期		H19	26,704	—	1期	H19		100,341	—

※令和2年度に措置した新型コロナウイルス感染症の影響に伴う委託料額を期中5か年で割った金額を記載

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R5 決算額	R4 決算額	前年度差	主な増減理由等
収 入	県委託料	8,766	22,911	△14,145	新型コロナウイルス感染症に係る委託料の減：△14,824千円 燃料高騰に係る委託料の増：679千円
	料金収入(※1)	82,492	149,871	△67,379	ホール等の利用者の減
	その他収入	40,953	36,112	4,841	施設使用料減収分の補填の増
	計(A)	132,211	208,894	△76,683	
支 出	人件費	32,691	31,431	1,260	人件費単価の増
	光熱水費	39,341	47,004	△7,663	ホール等の利用者の減
	設備等保守点検費	26,046	26,025	21	
	清掃・警備費等	14,024	27,712	△13,688	ホール等の利用者の減
	施設維持修繕費	6,311	31,861	△25,550	館内修繕箇所の減
	事務局費	13,896	26,736	△12,840	ホール等の利用者の減
	その他	17,127	20,827	△3,700	レストラン等の利用者の減
	計(B)	149,436	211,596	△62,160	
収支①(A-B)		△17,225	△2,702	△14,523	
自主事業 (※2)	収 入(C)	11,346	28,469	△17,123	自主事業の減
	支 出(D)	9,002	13,916	△4,914	
	収支②(C-D)	2,344	14,553	△12,209	
合計収支(①+②)		△14,881	11,851	△26,732	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による、県民サービスの向上 ○業務の実施による、施設の利用促進 	<p>「ひろしまミュージックキャラバン」(8月)や「中四国神楽フェスティバル in ひろしま」(10月)を広島県と協働して実施した。</p> <p>上記、神楽フェスティバルでは、衣装の試着体験や子供向けの神楽の塗り絵コーナー等を設置し、高齢者層だけでなく、ファミリー層へも伝統文化に親しむ機会を提供し、施設利用促進に努めた。</p> <p>ネーミングライツを有する「上野学園」と連携し、学生と地域の住民が交流する自主事業イベントを実施した。</p>	<p>指定管理者共同企業の特徴を活かし、集客力のあるイベント開催するなど、県民に優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供し、利用率の向上に努めている。</p>
	○施設の維持管理	<p>洋式化トイレへの更新工事の実施のほか、施設の老朽化に伴う、突発的な故障・不具合に対し、適切に緊急対応した。</p>	<p>必要な工事や修繕・部品交換について適時対応している。また、工事の対応ができない場合も、適切な応急処置を実施している。</p>
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正 	<p>燃料高騰の状況で支出を抑え、収支の適正化に努めながら、老朽化設備の保守等を計画的に実施した。</p>	<p>燃料高騰の影響下においても、収支の改善に向け適切に対応している。</p>
総括		<p>地域の住民が施設を身近に感じるような自主事業イベントに取り組むほか、トイレ改修工事等、老朽化した施設・設備の維持管理に努めた。</p>	<p>節電対策等、収支の適正化や老朽化した施設・設備の維持管理を適切に行うとともに、若年層にアプローチする自主事業等にも積極的に取り組み、利用促進に努めている。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和6年度)	<p>施設の安定運営に向けた設備保守に引き続き努めるほか、指定管理者構成企業の特徴を活かし、広報の充実を図る等、施設利用促進及び収支の適正化に取り組む。</p>	<p>今後も指定管理者と随時情報を共有し、施設の利用促進に繋がる検討を行う。</p>
中期的な対応	<p>計画的な修繕に向け、県と密に連携するとともに、地域の方に親しみある施設運営に努める。</p>	<p>指定管理者と連携して、中長期的な観点から、計画的な修繕工事に着手し、施設の利便性の向上及び利用促進を図る。</p>